

平成 19 年度財団法人武蔵野市福祉公社事業報告

福祉公社は、全国で初めて設立された行政関与型の福祉サービス提供機関としての使命を自覚し、有償在宅福祉サービス事業をはじめ、各種事業の充実に努めました。

19 年 9 月に、市の「福祉三団体改革基本方針」が提示されました。それを受け、公社内に「中長期事業計画等検討委員会」を設けて、基本方針に沿った公社の実務上の具体的対応策を検討いたしました。なお、検討にあたって、18 年 12 月の有識者による「有償在宅福祉サービス事業検討委員会」報告書を踏まえ、公社の各事業を、時代の要請と利用者ニーズに合致したものへと再構築し、20 年 9 月を目途に取りまとめる予定です。

介護保険について、公社は居宅介護支援事業及び訪問介護事業を自主事業として実施し、順調に推移しております。これらの事業に関しても、上述の福祉三団体改革基本方針により改革の対象となっておりますので、19 年度は、サービス提供体制の整備を検討しました(20 年 4 月から実施中です)。

公社独自の権利擁護事業は利用者が拡大しております。さらに、成年後見事業は、有償在宅福祉サービス、権利擁護事業の延長線上に位置づけられ、また、市長による成年後見申立の受け皿としても機能しています。

北町高齢者センター・高齢者総合センターの管理運営、在宅介護支援センター、地域包括支援センター、ケアマネジャー研修センター、デイサービスや移送サービス事業(レモンキャブ)等の受託事業を円滑に実施しました。また、障害者自立支援制度によるホームヘルパーの派遣も順調に推移しております。

これらの事業につきましては、武蔵野市福祉総合計画(18 年 3 月)に沿いつつ、かつ、財団法人としての自主的な事業運営を行いました。

記

1. 保健・医療・福祉サービスに関する啓発普及活動 (2,066,242 円)

(1) 啓発普及事業 (133,464 円)

成年後見制度等と福祉サービス利用に関する出前講座「市民のための老いじたく講座」等を延べ 12 回実施し、353 人の市民が参加しました。

この他、各地域包括支援センター社会福祉士と連携して、4 コミュニティセンターで、「老いじたく相談会」を、4 回開催し、22 人の市民の相談に応じました。

また、20 年 3 月 12 日、武蔵野スイングホールにて、介護予防講演会「元気が一番」を開催し、東洋医学情報センター藤井弘泰氏による同講演に、132 人の市民が参加しました。

(2)ホームヘルパー養成等講習事業 (1,932,778 円)

訪問介護員・障害者(児)介護従事者 2 級養成研修を開催し、30 人が修了しました。

2. 調査研究開発事業 (160,000 円)

平成 20 年度から実施される新公益法人制度に対応するため、情報の収集および新制度に関する研修会を開催しました。

3. 市民シルバー助け合い事業 (7,742,893 円)

高齢者総合相談では、様々な相談に応じました。一般相談116件、法律相談30件の対応をしました。

4. 高齢者福祉施設の管理運営等受託事業 (385,568,346 円)

(1) 高齢者総合センター受託事業 (241,299,142 円)

高齢者総合センターの管理運営及びセンターにおける在宅介護支援事業、地域包括支援センター事業、補助器具センター事業、デイサービス事業を市から受託し、実施しました。

事業名 高齢者総合センター管理 (58,642,679 円)

事業名 在宅介護支援センター事業 (52,849,941 円)

中町、西久保、緑町、八幡町地域の高齢者を対象に、介護保険以外の在宅サービスを提供するとともに、年間 3,207 件の相談を受けました。

事業名 地域包括支援センター(29,014,666 円)

保健師・社会福祉士・主任ケアマネを配置し、総合相談支援 2,485 件、権利擁護 21 件、包括的・継続的ケアマネジメント支援 168 件、介護予防ケアマネジメント 403 件等の相談・調整業務を行いました。

事業名 補助器具センター事業 (18,899,716 円)

作業療法士を配置し、専門的な視点からの住宅改善、補助器具のアドバイスおよび市独自の事業を総合的に実施し、年間 1,954 件の訪問を行いました。

事業名 デイサービス事業 (81,892,140 円)

デイサービス事業は、平日の平均利用者が 35 人(うち認知症高齢者 13 人)で、年間 8,841 人の利用者がありました。また、入浴サービスは年間 1,587 人の利用者がありました。配食サービスの利用は、年間 4,343 食でした。

(2) 北町高齢者センター受託事業 (91,827,285 円)

北町高齢者センターでは、デイサービス事業「コミュニティケアサロン」を実施し、一日平均利用者 25 人、年間 7,256 人の利用がありました。

地域に開かれたセンターを目指す一環として、一般市民に施設を開放して利用

者などの作品を展示・販売する「はなみずき祭り」や、庭木や草花を観賞していただくための「オープンガーデン」を開催しました。

また、11月4日には、武蔵野スイングホールにおいて「創立20周年記念式典」を開催し、来賓、ボランティア等総勢180余人の出席をいただきました。

(3) ケアマネジャー研修センター受託事業 (12,882,358円)

介護保険におけるケアマネジャーの資質向上を図るため、体系的な研修を実施しました。新任研修54人、現任研修一部33人が修了し、専門研修には第1回133人、第2回108人が受講しました。

「ケアプラン指導研修チーム」を設置し、ケアプランに関する指導会議を年間6回行い、39件のケアプランについて指導しました。3月に実施したケアプラン指導研修事業報告会には108人のケアマネジャーが参加しました。

(4) ホームヘルプセンター武蔵野受託事業 (11,308,601円)

高齢者、難病患者等に対してホームヘルプサービスを実施し、年間6,651時間移動支援事業に625時間派遣しました。

また、ホームヘルパーの資質の向上を図るため、実技指導等の研修会を実施しました。

(5) 移送サービス(レモンキャブ)事業 (28,250,960円)

既存の公共交通機関の利用が困難な高齢者や障害者の外出の利便を図るため、地域住民の協力を得て、軽自動車の福祉型専用車両9台を運行しました。19年度末現在、利用会員757人、運行協力会員43人、運行回数は年間16,328回でした。

5. 高齢者の生きがいと健康づくり推進事業 (69,035,317円)

社会活動センターでは、市からの受託事業として、元気な高齢者の多様な余暇活動に対応する43の教室・講座を開講し、34,884人が受講しました。また、年間14回行事を開催し、2,488人の参加者があり、その他の利用者を加えて年間54,516人の利用がありました。

世代間交流事業の境南小学校ふれあいサロンは、3講座(延べ95回)を開催し1,617人が受講、休み時間や給食を通じて多数の児童との交流を行いました。

地域健康クラブは、市内16ヵ所のコミュニティセンターで開催し、開催回数は各42回、参加者1,014人、平均年齢76歳、最高齢者95歳でした。

6. 高齢者の有償在宅福祉サービス事業 (128,938,385円)

(1) 有償在宅福祉サービス事業 (115,066,104円)

定期訪問による相談援助を基調とし、社会資源仲介機能、親族機能の代行機能、緊急時対応等を内容とするサービスを提供するとともに、協力員による住民参

加型家事援助・身体介護サービス、生活費や医療費等を内容とする福祉資金貸付サービスを実施しました。

年間の新規契約世帯は 49 世帯、解約世帯は 30 世帯で、19 年度末現在の利用者は 223 世帯、275 人でした。

(2) 権利擁護事業 (5,753,095 円)

権利擁護事業については、年間の相談件数は 392 件、独自事業の契約者は 19 年度末現在 123 人となりました。

また、権利擁護センターは苦情対応機関としても位置づけられており、高齢者福祉にとどまらず、児童福祉(保育園、幼稚園に関する苦情)もカバーしています。

(3) 地域福祉権利擁護事業 (4,358,000 円)

基幹事業所として東京都社会福祉協議会と調整しながら業務を進めました。契約者は 1 人です。

(4) 成年後見事業 (3,761,186 円)

19 年度中に 2 人の成年後見人等に就任し、19 年度末現在、10 人を担当しています。また、任意後見契約締結者は 6 名です。市長による申立に関しては、生活福祉課と連携し、中心の実務を担っています。

7. 介護保険法における居宅介護支援事業及び訪問介護事業 (198,129,713 円)

(1) 居宅介護支援事業 (29,088,558 円)

居宅介護支援事業は、介護保険法のケアマネジャー業務を実施しました。

事業名 居宅介護支援事業 (29,088,558 円)

福祉公社指定居宅介護支援事業所では、介護支援専門員 5 人、介護報酬請求件数は、介護 1,694 件、予防 251 件で合計 1,945 件でした。

事業名 居宅介護支援事業 (予算は在宅介護支援センターに含まれる)

高齢者総合センター指定居宅介護支援事業所では、介護支援専門員 7 人、介護報酬請求件数は、介護 541 件、予防 214 件で合計 755 件、要介護認定調査件数は 981 件でした。

(2) 訪問介護サービス事業 (169,041,155 円)

ホームヘルプセンター武蔵野では、介護保険法による訪問介護事業を実施し、介護 50,271 時間、予防 9,642 時間ホームヘルパーを派遣しました。また、利用者の全額自己負担によるサービス契約では 6,373 時間ホームヘルパーを派遣しました。

19 年度末現在の登録ヘルパー数は 155 人、介護報酬請求件数は 3,403 件でした。

8. 障害者自立支援制度による居宅介護サービス事業 (9,707,981 円)

ホームヘルプセンター武蔵野では、障害者を対象にした障害者自立支援制度による居宅介護サービス事業を実施し、4,218 時間ホームヘルパーを派遣しました。

9. 職員研修の実施

職員の資質の向上を図り、利用者に対して質の高いサービス提供に努めるため、本年度も引き続き職員の研修会及び講習会を開催しました。

10. その他

市をはじめとする各機関、民間のサービス事業所等、多方面の機関、地域福祉の要である民生・児童委員と連携し、事業を進めました。また、市民社会福祉協議会、老人クラブ連合会などが実施する事業にも積極的に協力し、職員を派遣しました。